

心のふるさと  
わが母校

小木曾  
豊



## はじめに

皆さんは、「母校」と聞いてどんな気持ちになるだろうか。また、何を思い出すのであろうか。人にとって母校は忘れ難い存在であり、「母校」という言葉からはさまざまな思いが去来するのであろう。

私は、2018年1月から2020年9月まで、南信州新聞に「飯田下伊那小中学校校歌」心のふるさとわが母校」というタイトルで連載記事を載せてきた。2年あまり過ぎた頃、読者と思われる方から「横浜に住んでいるS村出身のNですが、先日南信州に載っていた母校の小中学校の記事を読ませていただきました。70年以上前に遊んだ仲間たちの顔や当時のふるさとの風景が浮かび、久しぶりにふるさとを思い出し泣けました。本当にありがとうございました」という電話があった。さらに、今年度開かれる「首都圏S会」で、参加者にこの記事を配布してよいかとの問い合わせもあった。

こんなささいな文章が、ふるさとから遠く離れて生活している方々にとっては、正しく室生

心のふるさとわが母校＊目次

はじめに

第一部 飯田下伊那小中学校の校歌…1～197

○小学校 41校

- ①松川北…3 ②松川中央…6 ③高森北…9 ④高森南…12 ⑤大鹿…15 ⑥豊丘北…18 ⑦豊丘南…21  
⑧喬木第一…24 ⑨喬木第二…27 ⑩座光寺…30 ⑪上郷…33 ⑫浜井場…36 ⑬追手町…39 ⑭丸山…42  
⑮伊賀良…45 ⑯山本…48 ⑰鼎…51 ⑱松尾…54 ⑲竜丘…57 ⑳川路…60 ㉑三穂…63 ㉒下久堅…66  
㉓上久堅…69 ㉔龍江…72 ㉕千栄…75 ㉖千代…78 ㉗上村…81 ㉘和田…84 ㉙阿智第一…87 ㉚阿智  
第二…90 ㉛阿智第三…93 ㉜清内路…96 ㉝浪合…99 ㉞平谷…102 ㉟下條…105 ㊱富草…108 ㊲大下条  
…111 ㊳和合…114 ㊴新野…117 ㊵泰阜…120 ㊶天龍…123

□中学校 20校

- ㊷松川…126 ㊸高森…129 ㊹大鹿…132 ㊺豊丘…135 ㊻喬木…138 ㊼高陵…141 ㊽飯田東…144 ㊾飯田西…  
147 ㊿旭ヶ丘…150 ㊽鼎…154 ㊽緑ヶ丘…157 ㊽竜峡…160 ㊽竜東…163 ㊽遠山…166 ㊽阿智…169 ㊽下條  
…172 ㊽阿南第一…175 ㊽阿南第二…178 ㊽泰阜…181 ㊽天龍…185

◇小中学校等 3校

- ㊿売木小中…188 ㊿根羽学園…191 ㊿飯田養護…195

第二部 校歌から学ぶ：199～229

- 1 校歌の魅力：201
- 2 調査の概要：202
- 3 校歌制定の願い・年代：203
- 4 懐かしきふるさとの自然：205
- 5 3人の作詞者：209
  - ・浅井洸
  - ・北原阿智之助
  - ・福沢悦三郎
- 6 まとめにかえて：226

第三部 歌われなくなった校歌：231～240

- |        |        |
|--------|--------|
| ○旧鹿塩小  | ○旧泰阜南小 |
| ○旧大河原小 | ○旧向方小  |
| ○旧松川東小 | ○旧福島小  |
| ○旧生田東小 | ○旧平岡小  |
| ○旧伊賀良小 | ○旧鹿塩中  |
| ○旧木沢小  | ○旧大河原中 |
| ○旧会地小  | ○旧伊賀良中 |
| ○旧伍和小  | ○旧山本中  |
| ○旧小野川小 | ○旧清内路中 |
| ○旧泰阜北小 | ○旧泰阜南中 |

おわりに



表紙・扉絵／北島新平



夢ふくらませた校歌制定

## 松川北小学校

住所 長野県下伊那郡松川町上片桐2930番地

### 1 沿革

上伊那郡の飯島町七久保や中川村片桐と境をなしている上片桐地区は、江戸時代には葛島・田島・前沢・小平・七久保・上片桐・片桐の7ヶ村が集まって片桐村として存在していた。しかし、明治14年上片桐村は、七久保村と共に片桐村から分村し、以後75年間を上伊那郡上片桐村として存続した。

松川北小学校は、明治5年（1872）瑞応寺に精研学校として創立された。以来80年ほどを一村一校の学校として存続してきたが、昭和31年（1956）上伊那郡に属していた上片桐村は下伊那郡大島村との町村合併を行い、両村の境界を流れる片桐松川より松川の名をとり、下伊那郡の松川町となった。そのため、学校も上片桐小学校から松川町立松川北小学校に改称された。

子どもたちは、稲、ソバ、リンゴの栽培、ホタルの育成や福祉施設訪問等々の学習を、地域の方々の絶大な応援や協力を得て行っている。学年が進むごとにいろいろな経験を積み、多様な力をつけると共に上片桐地区や



そこに住む方々へ心を寄せることができるようになっていく。

## 2 校 章

上片桐の名にちなんで桐の葉をあしらひ、その中心には、「小」の文字が大きく描かれ、3枚の葉の上部には3本の若木が天に向かって伸びていくよう配置されている。また、若木の葉の中心部から葉脈が力強く描かれているのは、片桐松川や天竜川の永遠の流れをも意味している。

## 3 校 歌

昭和20年（1945）11月に制定された校歌は、作曲が伊那市富原出身で東京音楽学校（現東京芸術大学）を卒業後飯田下伊那を中心に作曲活動をしたり、中高生のためのピアノ教室を開いたりして、地域の音楽普及に努めた羽場匡雄である。作詞は諏訪郡富士見町出身で、小学校教員をしていた森山汀川である。彼は、同じく諏訪地域で教師をしていた歌人・島木赤彦を知り、同人誌「アララギ」の編集にも携わっていた。

楽譜の先頭に歌う速さは示されていないが、ややゆっくりとした感じで歌っている。そんな曲の中で、3連符の部分が3ヶ所あることよって、アクセントがつけられている。歌詞においては、終戦の3ヶ月後に制定された校歌のためか、3番の最後の部分に「今れい明の世にそわん ゆたけき力たくわうるなり」という文言が入っている。この期に戦後の新しい文化・時代などを意識した校歌が作られたことは、地域住民にとっても将来に向けて大きな励みになったと思われる。

## 【著者略歴】

### 小木曾豊（おぎそゆたか）

昭和23年（1948）長野県飯田市生。  
長野県小中学校社会科教師として勤務。  
飯田市立伊賀良小学校校長を最後に退職。  
現在飯田FMパーソナリティとして活躍中。

## 心のふるさとわが母校

---

2022年6月23日 発行

著者 小木曾 豊

発行者 木戸ひろし

発行元 ほおずき書籍株式会社

〒381-0012 長野市柳原2133-5

TEL (026) 244-0235(代)

web <http://www.hoozuki.co.jp/>

発売元 株式会社星雲社（共同出版社・流通責任出版社）

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-30

TEL (03) 3868-3275

---

ISBN978-4-434-30507-8

- ・落丁・乱丁本は、発行元宛に御送付ください。
- ・送料小社負担にてお取り替えいたします。
- ・本書は購入者による私的使用以外を目的とする複製・電子複製および第三者による同行為を固く禁じます。
- ・定価はカバーに表示

©2022 Ogiso Yutaka Printed in Japan

JASRAC 出 2200491-201